



〒104-0044
東京都中央区明石町10-1
聖路加国際大学礼拝堂
TEL 5550-2416 (日曜)
TEL 5550-7043 (平日)
FAX 5550-7070
E-mail: chapel@luke.ac.jp
URL: <http://nssk.org/tokyo/church/luke>



東京教区合同堅信式における堅信受領者と教父母 6月9日 香蘭女学校礼拝堂にて

聖書に学ぶ会

- 第1日曜日 午後 聖書を読む会
 - 第1・第3木曜日 午前10時 新約聖書
 - 第2・第4火曜日 午後5時30分 旧約聖書
- 場所…旧館2階 プライベートルーム
日程・場所変更の場合があるため事前にご確認ください。

巻頭メッセージ

寂しい人はどう歩む

礼拝案内

月・火・木・金曜日

■ 午前8時30分 朝の礼拝 トイスラーホール

水曜日

■ 午前8時30分 聖餐式 トイスラーホール

※第2水曜、第3火曜、第3水曜の礼拝は午前8時45分～

日曜日

■ 午前7時 聖餐式 トイスラーホール

■ 午前10時 日曜学校礼拝 臨時チャペル

■ 午前10時30分 聖餐式・説教 臨時チャペル

■ 午後5時 夕の礼拝 トイスラーホール

チャプレンメッセージ

寂しい人はどう歩む

司祭 シモン・ペテロ 上田憲明

よく人から「どうして、チャプレンになろうと思ったのですか？」と訊かれます。その度に、自分の生い立ちを話し、高校二年生の頃に教会に行き出したことをお話しします。父親が三十八才で死に、その時自分は七才だったこと。母親が信頼していた母の兄もその四年後に死に、母親が精神的に不安定な時期があったこと。その母が内縁関係の夫と一緒に暮らしたいと言って、アルコール依存症の人と家族として同居したのが自分がティーンエージャーの頃だったことなど。自分の生い立ちの中で、体験したことをきっかけにずっと心の中にあっただけ「寂しさ」だったように思っています。人々の間においても「寂しさ」を感じ、他の人との繋がりを感しながらも孤独感を抱えながら生きていたように思います。その事に気づき始めたのが高校二年生の頃で、教会に通い始め、洗礼を受けクリスチャンになったことで少しずつ「寂しさ」がもたらす心の傷

がいやされていきました。神学校在学中に行われた臨床牧会訓練の中で、井原チャプレンとの出会いを通して、自分のミニストリーを大きなテーマの一つが、その「寂しさ」であることをよりはっきり示されて、それをずっと心に留めて歩んできたとは振り返っています。こんな歳になっても、相変わらず、今も「寂しい」思いは絶えずあるのですが、それがむしろ自分が他の人に興味や関心を持ち、他の人との繋がりを求める源泉として見えてきています。

退職された女性司祭の山野繁子先生が歌詞を書かれた聖歌三六四番の歌詞の三番に、

「寂しい人に

キリストは呼びかける

あなたは神の光を受けて

交わりを分かち合う人になる」という言葉があるのですが、まさにその方向でミニストリーを続けなさいと励まされているように思えてきます。